

## No.2424 金 剛 山

H26年7月26日(土) 晴れ

参加者：中橋(L) 上ノ原、高石(記)

快晴の中9:30出発。車止めの鉄柵を抜け木立の中を進む。  
谷に入ると木陰の沢歩きとなり、真夏とは思えぬほど快適です。10:05妙見滝着。前回はこの滝も登ったのですが、今回は私がしり込みしたので、高巻きしてくれる。

10分後再び入溪。ひざ下は濡れるに任せて、水の中を歩くのは気持ちいい！  
10:30小休止。この沢沿いを登っていくのは、カクテルの3人だけだった。次第に水量が少なくなっていよいよ源頭部が近い。

11:15青空が真近に感じられる。ここからの急登は、木の根やロープの世話になりながら、這うようにして登りきる。

12:00丁度に山頂着。木陰を求めて一段下の広場で、大休止。今日は、年配者より山ガールの方が多い。カラフルな装いで全体が明るい。13:40カトラ谷へと向かう。強い日射しが照り付け、下り階段なのに汗が噴き出してくる。13:40やっと入溪。

一番暑い時間帯でもあり、朝ほどの快適さは感じられない。14:40登山口着。寸前にバスが発車してしまう。本来なら、次のバスで河内長野のはずだったが、クヌギ峠経由で帰ろうとの提案があり、太井まで炎天下のバス道を歩くことになる。4台もバスを見送って……。途中、岩壁に咲く山ゆりや美しい青田が慰めてくれる。

太井15:45。ここからの緩やかな登りは、あまり歩かれていないようで、足元を探りながら、リーダーは小枝で蜘蛛の巣払いながら先導してくれた。クヌギ峠16:20。16:35車道に出る。汗まみれの車道歩きは夏山トレーニングになったのかな～～？

天美17:00発の電車に滑り込みセーフ。難波までの間で流れ解散となりました。

リーダー、上ノ原さん有難うございました。楽しい山行でした。

